

シェアリング2015in新宿 前夜祭

映画上映会

“歌の水先案内人 田川のおっちゃんのドキュメンタリー映画”

ゆめみたか

～愛は歌 田川律～

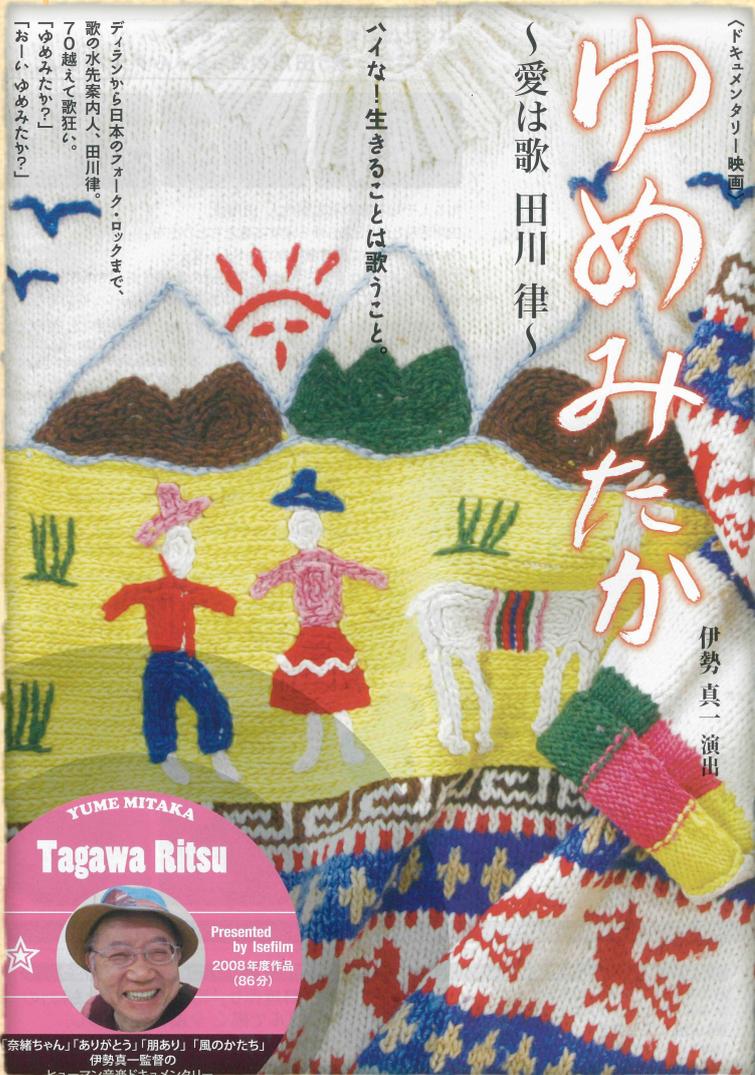
上映作品 (86分)

6月26日(金) 開場 18:30 開演 19:00

会場：全労済ホール/スペース・ゼロ

映画終了後、ミニトーク&ライブ
りつ・おかだ

(田川律Vo, 岡田信一Vo,AG)
トークゲスト 伊勢真一監督



鑑賞料金 1,000円

シェアリングチケットお持ちの方は500円

前売り券取り扱い

スペース・ゼロ チケットデスク

<http://www.spacezero.co.jp/>

(PC・携帯)

♪くたばってもいい、死んでもいい♪

今を時代を歌う田川のおっちゃんグラフィティ。



知る人ぞ知る歌の水先案内人 田川律。
田川さんとありとあらゆる愛する歌たちとの旅を、ウロチョロついて周る奇妙なロードムービー。
こんなヘンテコな音楽ドキュメンタリーが、かつてあっただろうか？
面白うてやがて不思議な「愛は歌」ゆめみたか？ おーい、ゆめみたか？

田川律さんは評論家、舞台監督、酔い人、編み物をする人、学校の先生…で、「ちゃん」と説明するには一日かかる、自分でもよく分からない。と答えが返って来るような、そんな人だ。とにかく歌が大好きで、歌の周辺をウロウロしてうけたいなおっちゃん、その田川さんが、70 才を超える頃から「こうなったら自分で歌ってえ〜!!」と声を上げはじめた。

「私はオンチです。必死に歌っても音程が外れる。でもしやあない…」クラシックから唱歌、フォーク、ロック、シャンソン、春歌、わけのわからない替え歌、もう歌のおモチャ箱をひっくり返したような大騒ぎだ。

その田川さんと歌達の旅を、カメラとマイクがウロウロついて回った。気がついてから4年の歳月が流れていた。塩とこしょうを振りかけたような声で、眼をつむりまるで読経のように歌う田川さんにすっかり惚れちゃった私達…

歌は何処から来て、何処へ行くのか 人は何処から来て、何処へいくのか…
ハイな！生きることは歌うこと。
面白うてやがて不思議な物語を例えば、ファンタジードキュメントと呼んでみよう。
伊勢真一(かんとく)



◎田川律(たがわりつ)
1935 年大阪市生まれ。「ニューミュージック・マガジン」創刊に参加。ポップファンを始め、内外のフォーク・ロックミュージックの紹介者・語り手として最前線で活躍。現在の主たる仕事は舞台監督、評論家、酔い人など多岐にわたっている。70 歳を超えてからガゼン! 手に目覚める…



◎伊勢真一(いせしんいち)
1949 年 東京生まれ「奈緒ちゃん」「ありがとう」「朋あり」「風のかたち」をはじめ、多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に手がけている。日常をふんわりと映し出す映像の中に、生きることの素晴らしさが込められた独特の作風が知られる。



協力：いせフィルム

出演 田川律 / 大塚まさ子 / 吉村安子
高橋悠治 / 斎藤晴彦 / ハンバートハンバート
中川五郎 / 藤縄つや / 福岡風太
阿部登 / 「舞一音」の仲間達 / 西村信子
「びびれっ」のみんな 他
特別協力 西岡泰蔵 / 菅田波
制作 岩永王敏 / 村元武
撮影 内藤雅行
音響構成 米山靖
撮影協力 石倉隆二 / 田辺司 / 瀧川高彦 / 伊勢朋矢
照明 眞輪栄一
録音 渡辺文彦 / 永峯康弘
イラスト 沢田しき / 深川風菜
監修 斎藤真貴
宣伝デザイン 五伍デザイン
上映デスク 東志津 / 藤野久美子
制作 いせFILM
演出 伊勢真一